

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 5 部門第 3 区分
【発行日】 平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【公開番号】 特開 2002-115940 (P2002-115940A)
【公開日】 平成 14 年 4 月 19 日 (2002.4.19)
【出願番号】 特願 2000-344417 (P2000-344417)
【国際特許分類第 7 版】

F 2 5 B 49/02

F 1 6 J 15/02

【F I】

F 2 5 B 49/02 5 4 0

F 1 6 J 15/02

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 3 月 31 日 (2005.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プラグ内に充填した低融点合金が圧力容器または冷凍サイクル配管の異常高温・高圧時に溶融して圧力を逃がす可溶栓において、プラグ内に充填する低融点合金が S n、B i、I n、Z n、G a から選ばれた二種類以上の金属からなる合金であることを特徴とする可溶栓。

【請求項 2】

プラグ内に充填した低融点合金が圧力容器または冷凍サイクル配管の異常高温・高圧時に溶融して圧力を逃がす可溶栓において、プラグ内に充填する低融点合金は、作動温度が 72 ～ 100℃ 間に存在する B i および I n からなる合金であることを特徴とする可溶栓。

【請求項 3】

プラグ内に充填した低融点合金が圧力容器または冷凍サイクル配管の異常高温・高圧時に溶融して圧力を逃がす可溶栓において、プラグ内に充填する低融点合金は、作動温度が 130 ～ 200℃ 間に存在する S n、Z n、B i からなる合金であることを特徴とする可溶栓。

【請求項 4】

プラグ内に充填した低融点合金が圧力容器または冷凍サイクル配管の異常高温・高圧時に溶融して圧力を逃がす可溶栓において、プラグ内に充填する低融点合金は、作動温度が 90 ～ 200℃ 間に存在する I n、Z n、B i からなる合金であることを特徴とする可溶栓。